

授業科目 手の外科の作業療法

【担当教員名】 大山峰生	対象学年	4	対象学科	作業
	開講時期	後期	必修・選択	選択
	単位数	1	時間数	15

【概要】 手の外科に必要な機能解剖および手の外科の作業療法における基礎的・応用的手法について習得する。

【学習目標】 1. 拘縮の病態を評価し、拘縮の治療理論・手法を解説することができる。 2. 屈筋腱損傷に対する治療の理論・手法を解説することができる。 3. 伸筋腱損傷に対する治療の理論・手法を解説することができる。 4. 手指および橈骨遠位短骨折等の骨折に対する治療の理論・手法を解説することができる。 5. 末梢神経麻痺（筋腱移行・移植を含む）に対する治療の理論・手法を解説することができる。
--

回数	授業計画又は学習の主題	SBO 番号	学習方法・担当教員
1	拘縮に対するハンドセラピー	1	講義 大山
2	屈筋腱損傷に対する治療	2	講義 大山
3	屈筋腱損傷に対する治療	2	講義 大山
4	伸筋腱損傷に対する治療	3	講義 大山
5	伸筋腱損傷に対する治療	3	講義 大山
6	手指および橈骨遠位短骨折などに対する治療	4	講義 大山
7	末梢神経麻痺（筋腱移行・移植を含む）に対する治療	5	講義 大山

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書				
参考書				
その他の資料	授業で配布します。			

【評価方法】 出席、期末試験	【履修上の留意点】
--------------------------	------------------